

第 3 8 期 報 告 書

〔 自 2 0 2 2 年 3 月 1 日
至 2 0 2 3 年 2 月 2 8 日 〕

貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
個 別 注 記 表

千葉県浦安市舞浜 1 番地の 8
株式会社 ホテルオークラ東京ベイ

貸借対照表

(2023年2月28日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,040,995	流動負債	3,596,907
現金及び預金	512,081	買掛金	35,721
売掛金	325,440	短期借入金	2,988,643
貯蔵品	58,178	リース債務	27,029
前払費用	109,793	未払消費税等	119,734
未収法人税等	5,449	未払金	236,587
その他	30,379	未払費用	115,409
貸倒引当金	△ 327	前受金	25,514
		預り金	31,421
固定資産	1,376,168	賞与引当金	15,073
有形固定資産	671,025	その他	1,770
建物	386,825	固定負債	866,033
建物附属設備	135,614	長期リース債務	30,233
構築物	4,163	長期預り敷金	14,796
機械装置	98	退職給付引当金	818,935
車両運搬具	401	その他	2,067
器具備品	93,647		
リース資産	50,275	負債合計	4,462,940
無形固定資産	11,024	純資産の部	
ソフトウェア	5,299	株主資本	△ 2,045,775
電話加入権	5,724	資本金	90,700
投資その他の資産	694,119	資本剰余金	816,300
敷金及び保証金	642,100	その他資本剰余金	816,300
繰延税金資産	51,389	利益剰余金	△ 2,952,775
その他	629	利益準備金	24,489
		その他利益剰余金	△ 2,977,264
		繰越利益剰余金	△ 2,977,264
		純資産合計	△ 2,045,775
資産合計	2,417,164	負債・純資産合計	2,417,164

損益計算書

(自 2022年 3月 1日 至 2023年 2月28日)

(単位:千円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,471,521
営 業 費 用		4,818,815
営 業 損 失 (△)		△ 347,293
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
助 成 金 収 入	40,832	
そ の 他	91	40,924
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	27,039	27,039
経 常 損 失 (△)		△ 333,408
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	522	522
税 引 前 当 期 純 損 失 (△)		△ 333,931
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	530	
法 人 税 等 調 整 額	△ 51,389	△ 50,859
当 期 純 損 失 (△)		△ 283,071

個別注記表

1. 重要な会計方針に関する注記

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……移動平均法に基づく原価法によっております。

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)

② 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）……定額法によっております。

無形固定資産 ……定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

リース資産 ……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係わるリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

③ 引当金の計上基準

貸倒引当金……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金……従業員賞与の支給に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

④ 収益及び費用の計上基準

宿泊部門及び料飲部門…宿泊部門及び料飲部門においては、主にホテル及びレストラン等料飲施設の経営・運営並びにそれらに付帯するサービスを提供しております。これらサービスの提供は、顧客にサービスの提供が完了した時点及び商品を引き渡した時点で収益を認識しております。

なお、サービスの提供のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、他の当事者が提供するサービスと交換に受け取る額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額を収益として認識しております。

2. 会計上の見積りに関する注記

固定資産の減損

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

有形固定資産残高	671,025 千円
無形固定資産残高	11,024 千円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社はほかの資産または資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位でグルーピングしています。

減損の兆候の判断は、各資産グループの営業損益が継続的にマイナスとなった場合などをその指標としております。減損の兆候が認められた資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回る場合、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当社においてはインバウンドの減少や飲食宴会等の自粛により宿泊、宴会、レストラン等足元の業績に多大な影響を生じており、営業損益が継続してマイナスとなったため、減損の兆候を認識しました。

このため、減損の認識の判定を実施しましたが、割引前将来キャッシュ・フローが帳簿価額を上回ったことにより、減損損失は計上しておりません。

割引前将来のキャッシュ・フローの見積りにあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した稼働率及び客室単価を主要な仮定とし、2023年度には徐々に新型コロナウイルス感染症の影響が収束しホテル需要が拡大することを見込んでおります。予測不能な前提条件の変化等により、翌事業年度の計算書類において固定資産の計上金額に重要な影響を及ぼす可能性があります。

3. 会計方針の変更に関する注記

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当事業年度の期首より適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。尚、計算書類への影響はありません。

4. 貸借対照表等に関する注記

① 有形固定資産の減価償却累計額		2,614,457 千円
② 関係会社に対する金銭債権、金銭債務		
株式会社ホテルオークラ	短期金銭債務	2,988,643 千円

5. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高		
株式会社ホテルオークラ	支払利息	26,433 千円

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

① 発行済株式の種類および総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 の株式数	増加	減少	当事業年度末 の株式数
普通株式	18,140 株	—	—	18,140 株

② 配当に関する事項

該当事項はありません。

7. 税効果会計に関する注記

① 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

税務上の繰越欠損金	1,202,756 千円
退職給付引当金	280,567 千円
賞与引当金	5,164 千円
その他	3,030 千円
<u>繰延税金資産小計</u>	<u>1,491,517 千円</u>
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	△1,159,315 千円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△278,762 千円
繰延税金資産合計	53,440 千円

(繰延税金負債)

<u>未収事業税</u>	<u>△2,048 千円</u>
繰延税金資産負債の合計	△2,048 千円

繰延税金資産の純額 51,389 千円

8. 金融商品に関する注記

① 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については安全性の高い短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入やグループファイナンス（CMS・Cash Management Service）により資金を調達しております。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、当社の与信管理規程に従い、取引先ごとの債権回収の期日管理及び残高管理を行うと共に、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握に努めリスク低減を図っております。

② 金融商品の時価等に関する事項

2023年2月28日（当事業年度末）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお現金及び預金・売掛金・未払消費税等・短期借入金・未払金の時価については短期で決済されるため、時価は帳簿価格に近似するものであることから、記載を省略しております。

	貸借対照表計上額(※)	時価(※)	差額
(1) 敷金及び保証金(注1)	642,100 千円	600,787 千円	△41,313 千円

(注1) 敷金及び保証金の時価については、将来キャッシュフローを、返還されるまでの期間および信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しております。

9. 関連当事者との取引に関する注記

① 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の 所有割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	㈱ホテルオー クラ	被所有 55.68%	資金の貸借 役員の兼務	資金の借入及 び利息の支払 (注1)	2,988,643	短期借入金	2,988,643

取引条件及び取引条件の決定方針

(注1) 約定金利については、市場金利を勘案して決定しております。なお、担保は差し入れておりません。また、資金の借入に係る取引金額については、集計が困難であるため借入金の期末残高を記載しております。

② 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の 所有割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の 子会社	㈱オークラニ ッコーホテル マネジメント	なし	運営委託	運営委託料 (注2)	103,577	未払費用	83,439

取引条件及び取引条件の決定方針

(注2)運営委託料については、業務内容等を勘案し、双方協議の上合理的に決定しております。

10. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 Δ 112,777円06銭

1株当たり当期純損失 Δ 15,604円80銭

11. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

12. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は、重要な会計方針に係る事項④収益及び費用の計上基準に記載しております。

13. その他の注記

千円未満を切り捨てて表示しております。